

学校関係者評価報告書

愛媛県立東温高等学校

学校番号 27

評価実施日		平成31年2月18日(月)	
委員	氏名	所属等	備考
	渡部園子	学校評議員	委員会には、菅野、渡部祐、八木、中塚氏は欠席した。
	野本勝	学校評議員	
	吉田典夫	学校評議員	
渡部浩美	東温市立川内中学校長		
評価・提言など		提言等に対する改善方策等	
<p>1 学校全般について</p> <p>学校評価では、総平均で2.2ポイント減となっているが、27項目中6項目を除いて、評価ポイントが70以上であるのはすばらしい。日頃からの指導が着実に成果として現れてきている。今後も、担任を中心に、関わる各先生方がそれぞれの立場で対応してほしい。それによって、学校生活が更に充実したものになり、生徒による評価が高くなっていくと思われる。</p> <p>新校舎や創立70周年記念事業として整備された中庭など落ち着いた環境の中で、生徒が授業をはじめとする学校生活に一生懸命に取り組んでいる姿が印象的であった。</p>		<p>マニフェストには「明確な目標を持ち、基本的な生活習慣を身に付け、基礎学力を向上させ、部活動に励み、思いやりに溢れた心豊かな高校生活」をサポートすることを掲げている。今後も生徒自身が学校生活に生きがいややりがいを実感できるよう、全教職員が一丸となって総合的な人間力の育成に取り組んでいく。</p> <p>全ての生徒が自主的で有意義な学校生活を送っていると感じられるよう、一層の支援に努めていく。</p>	
<p>2 学習指導について</p> <p>授業評価アンケートで、「家庭での学習習慣が確立できているか。」「授業内容がよく理解できているか。」について、教員評価と生徒の自己評価の差が大きいように思われる。</p> <p>生徒に読書習慣を身に付けさせる指導についての評価が評価項目のうちで最も低くなっている。朝読</p>		<p>授業に真剣に取り組まなければならないという意識を高めるとともに、家庭での学習習慣の確立が必要な生徒が多い。家庭との連携を密にし、意識向上を図っていく。また、生徒がより主体的に授業に取り組む授業形態の工夫について実践・検証を行っていく。</p> <p>図書委員会の活動を中心に、利用しやすい図書館づくりの取組を継続すると</p>	

書をさせるなど読書習慣を身に付けさせるための取組を進めているが、粘り強く指導を継続してほしい。

3 進路指導について

商業科で国公立大学への進学者が複数出たことは、大きな成果である。生徒一人ひとりが自己実現できるように、これからも進路指導に力を入れて取り組んでほしい。

ビジネス実習の中で、マンネリ化を防ぐための方策を受け入れ企業側も考えている。今年は、何事にも積極的な活動であった。今後も、自主的・意欲的な取組になるように指導してほしい。

4 生徒指導について

商業施設で東温高校生をよく見かける。声掛けは丁寧で、素直に応じてくれているので気持ちが良い。

SNSによるトラブルや加熱式タバコなど、問題の実態が分かりにくくなっている。指導側の知識も必要となっているので、共有理解を深めてほしい。

5 特別活動について

創立70周年の学校行事として、皿ヶ嶺登山、体育祭、文化祭、東温フェスティバルが実施された。各行事において、生徒が自主的・積極的に活動し、充実した内容を見ることができた。また、PTAの協力も多く見られ、開かれた学校づくりを感じることができた。

部活動では、どの部も熱心に積極的に活動している。全国レベルの大会やアジアを舞台に活躍している部や同好会もある。それぞれが高い目標を目指してほしい。また、多くの生徒が様々な機会を捉えボランティア活動に積極的に参加してほしい。

もに、授業や特別活動などにおける図書館利用を積極的に推進するなど読書習慣の確立に努めていく。

進路に関する的確な情報提供を充実させ、家庭・学校が連携し指導することにより、高い目標を持たせ、努力する姿勢を養っていく。

地域の企業等と連携を図り、職業や将来の進路について考えさせ、確かな職業観を持った信頼される生徒の育成に努めていく。

挨拶や時間を守るなど基本的な生活習慣を身に付ける指導を引き続き徹底していく。地域や各方面とも連携を図り、生徒の健全育成に努めていきたい。

SNSによる被害者・加害者にならないように、家庭と連携して利用のルールを決めたりセキュリティに対する意識向上を図ったりすることでトラブルの未然防止に努める。

今後も継続して学校行事に生徒自ら意欲的に取り組む態度を育成していくとともに、生徒が安心して活動できるよう、安全には細心の注意を払って計画・実施していく。また、地域に根差した学校を目指し、今後もできるだけ地域の方々も多く関われる機会を増やし、生徒が充実感や達成感を感じ取り、励みとなるようにしていく。

部活動等に取り組む生徒の意欲・関心を更に高め、高いレベルを目指して努力するような環境整備に努める。

<p>6 人権教育について</p> <p>いじめの対応では、発覚して認定されるまで多くの時間を要することがあると他校で聞いたことがあるが、もっとスピーディーに対応ができないか。東温高校ではどのように考えるか。</p> <p>7 安全教育について</p> <p>下校時のヘルメットの着用については、学校から離れると、かぶっていない生徒を見かける。また、交通ルールを守れていないこともあるので、更に安全教育を徹底してほしい。</p>	<p>多くの生徒から情報を集め、矛盾点がないか類推していく作業などに時間を要するが、生徒の訴えに真摯に耳を傾け、組織で対応することで問題の早期解決を図り、関係生徒に対してしっかりとフォローできるよう一層努めていく。</p> <p>自分の命は自分で守ることを強く意識させ、登下校時における安全指導の充実と徹底を一層図っていく。</p> <p>保護者の送迎については、学校周辺で迷惑を掛けることが多くなってきたことと安全面を考慮し、今年度より校内へ乗り入れるようにした。</p>
--	---